



今月のみさとし/この道は病直しの道にあらず、心直しの道なり。(「拜礼式順序」昭和18年10月)

# 1万人の記念大祭にさらなる躍進を誓う

会員の真心の勧募により奉祝の年にふさわしく整備された御霊地において、10月10日に本祭式典、そして14日には立教90年を奉祝した万物稔りの記念大祭が盛大に執り行われた。「行こう! こころのふるさとへ」を合言葉に、全国から会員が法縁者と共に集いあい、金剛さまに感謝と報恩を、そして立教100年に向けた躍進を誓った。

(詳細については12月号に掲載いたします)



青天井の下、立教90年記念の秋季大祭を寿ぎ、会場一体となり、渡辺孝彦理事長発声により「乾杯」



長老さま、渡辺理事長をはじめ本部役員、全国教区長らが祈る萬霊大供養



一日開催のもと全国の会員代表が集結し、拜礼行事



10日の本祭式典は晴天の中、本部役員らが参列し、執行された



市民に向けた屋台村を開設。北本商工会・露店やステージの演目で楽しませた



新支部長研修・フォローアップ研修

# 役目の尊さと覚悟を胸に

9月29日～30日、今秋に新設された相模大野支部、京都洛央支部を含む新支部長を対象とした「新支部長研修」と5年目を迎えた支部長を対象とした「フォローアップ研修」が、併せて解脱研修センターにて開催され20名が参加した。

研修は、「親支部長や先代、歴代支部長への感謝を忘れないことが大事です」との西村晴雄教務局長の開会挨拶で始まり、

支部長への熱い激励を込めて、渡辺孝彦理事長からは自身も支部を預かる立場としてその役目の尊さと喜びが伝えられ、続いて近藤貞男理事参与からは「支部長の役目」、木村正則常任理事は「感謝会とは」をテーマに講話が行われた。

その後、支部長たちは金剛さまのご精神、御霊地の尊さや諸札の心得、さらに



支部長に課せられている実務など、多岐に渡って学んだ。支部長としての役割を深く認識した各自は、奉祝の秋季大祭を共に喜びと感謝で参加しようと誓いつつ再会の約束を交わし合った。

本大祭にて  
認証された  
名誉支部長  
支部長

名誉支部長



京都・京都桂  
西村 武

支部設立支部長



東京1・相模大野  
内藤 憲一



京都・京都洛央  
田中 英次

支部継承支部長



滋賀・長浜神前  
今庄 和子



京都・京都桂  
西村 学



神戸・神戸五十波  
谷口 いず子



九州・天草本渡  
若杉 和子

## 本部研修・仲介者養成コース

# 経験値の近い者同士で学び合う



9月22日から23日にかけて、仲介者養成コースが御霊地・解脱研修センターにて開催された。参加者は43名。

午前10時、大賀光夫修法部長の開講挨拶に始まり、西村晴雄教務局長より「み教えの基本」について講義を受けた。「御五法修業の目的と心得」「修業者の心得」を学んだ後、2つの教室に分かれて集中講義を行った。8班に分かれての実修では、班担当を囲んで御修業について意見

## 第163回 海老名萬霊魂祭塔秋季大祭

# 総ての生命に感謝の意識を！

神奈川県海老名市の海老名萬霊魂祭塔前において、9月23日に第163回海老名萬霊魂祭塔秋季大祭が解脱会本部主催、神奈川教区主管のもと開催され、岡野英夫顧問が本部出講、地元教区はじめ東京などからも多数参加した。

大祭は、献華、天茶献供、福井恒明神奈川教区長の諷誦文奏上、代表者による焼香の後、参加者全員が般若心経を念唱する中、真心からの天茶供養を厳修した。

講話では岡野顧問が「地球は一つの生命体」と、生命のつながりを意識するこ

を交わり、日頃の仲介での疑問を相談するなどして真剣に学び合った。翌日午後2時に班実修は終了。最後に松田佳高布教部長より「支部で仲介者としてお使いいただく」と題する講義を受け、午後3時、



新たに設置された案内板=写真右。塔の意味や由来、大祭の意義などが、近隣の方々にもこれまで以上に分かりやすく伝えられるようになった



とが世界平和の土台となり、萬霊魂祭塔の尊さにもつながると強調した。

この後、岡野顧問の発声で声高らかに万歳三唱。その後、直会となった。

本年最後の仲介者研修を終えた。

今回は仲介を始めて間もない参加者が多く、「経験値などに配慮した班分けがされていて、初心者同士で学べたことが良かった」という感想が聞かれた。

## 愛知教区・豊橋陸軍墓地供養会・子ども大会

# 親子孫・各支部親睦深める

8月26日、愛知教区では豊橋陸軍墓地にて第48回豊橋陸軍墓地祭祀の霊並びに豊川海軍工廠関係犠牲者合同供養会を、出講の山本英次中部道場長をはじめ地元来賓、会員あわせて115名の参列のもと盛大に執り行われた。

午前11時に開会。国歌斉唱の後、青年部員による献納と献花、女性部による



献天茶が行われ、政年均愛知教区長が諷誦文を奏上した。各墓へ天茶の撒き供養と焼香を行い、一同心を込めて般若心経を唱えた。続いて陸軍に縁の深い戸山流居合の演武も戸山流居合道東海道場の剣



士の方々によって奉納された。

午後は同墓地の林間にて「子ども大会」が開かれ体操やゲーム、そして絵本『いのちのまつり』を題材にしながら、自身の先祖について学びを深めた。

## 大阪松虫支部30周年記念感謝会



久保田宮司



大阪松虫支部は9月16日、30周年記念感謝会を開催した。当日は橿原神宮にて正式参拝後、会場となるTHE KASHIHARAに移動。久保田昌孝橿原神宮宮司をはじめ、岡野英夫顧問の他、支部に縁の深い方々が出席した。

第1部は永田秀夫支部長の孫・秀成氏先方で拝礼行事、支部長夫妻への花束贈呈、支

部長お得意の“爆笑福引”と進み、島田光昭教区長、久保田宮司のご挨拶に続いて岡野顧問による記念講話が行われた。

第2部は武井達郎教区担当発声による乾杯で祝宴が開始。支部会員による河内おとこ節、南中ソーラン節等の祝舞で会場が一体となって沸いた。最後に辻一郎川西栄町支部長による一丁締めで締め括られた。

## あきる野支部創立60周年

## 支部長拝命10周年記念感謝会

10月8日、あきる野支部は創立60周年・支部長拝命10周年記念感謝会を支部道場において開催した。

午後1時開会、国歌斉唱、拝礼行事の後、須藤正支部長は挨拶の中で、支部の歴史を辿り、「廣川千恵子支部長がいなければ今の幸せはなかった」と語り、さらに廣川氏が昭和31年に八王子支部を設立して60年、大貫静子氏、上野里美氏、上野好正氏、沖津善子氏、そして自身が六代目として続けて来られたのは皆さんのお蔭と述べた。廣川



貞雄相談役の祝辞の後、出講の岡野英夫顧問より記念講話として支部の節目を祝して自身の体験を交えて学びの大切さが伝えられた。第2部は山田盛和日野台支部長の乾杯で祝宴となり、会員の詩吟に沸き、盛大な拍手の中、支部長夫妻への花束贈呈が行われた。

## 群馬教区・宗教団体連合会研修会

## 川越初雁支部の塩原氏が講演

群馬教区は9月11日、加盟している群馬県宗教団体連合会（年末助け合い募金等の社会貢献活動を目的とする）の研修会をホテル小暮（伊香保温泉）で開催。川越初雁支部の塩原経央氏（元産経新聞社校閲部長・論説委員）を講師に招き、「言葉の成り立ちを知れば日本人の心の形が見えてくる」との演題で講演し、約200名が参加した。

午後1時開会。今年、県宗連会長を務める村上美津枝群馬教区長挨拶の後、塩原氏が登壇、約90分間にわたり「命」や「魂」、「御霊」、「神」など



さまざまな言葉の意味を、日本古来の「やまとことば」の語源から一つひとつ丁寧に解説し、日本人の持つ精神の根源の学びを深めた。その後、人権を大切にする啓発推進映画の上映をもって閉会。

終了後は懇親会となり加盟教団の懇親を深めた。

## 北陸教区・教区大会

## み教えの実践に向けて



9月16日、北陸教区は教区大会を福井市地域交流プラザにて74名の参加で開催、NPO法人ジャパンハート代表、医師の吉岡秀人氏＝写真＝をお招きし、「目の前の“いのち”を感じる～20年以上途上国医療で戦い続ける医師からのメッセージ」と題して特別講演会を行った。

吉岡氏は、ミャンマーにて戦火に倒れた日本人が当時お

世話になったであろう現地の人々の、その子孫を今救うことでそれが戦没者への慰霊に通じるとの思いで活動してきたことなどを語った。

参加者からは、「金剛さまの教え・与えて求めぬ太陽の心を実践されている姿を見せていただいた」また「延命治療のない国の方が安らかな姿で亡くなっていることに考えさせられた」などの声が聞かれた。

## 滋賀教区・家族スクール

## お恵みを実感する収穫祭

9月9日、滋賀教区は家族スクールで取り組んでいる稲作体験の第3弾として「収穫祭」を開催した。

猛暑の影響で予定よりも稲の生育が進んでいたため事前に有志の手で稲刈りをし、当日は乾燥させた稲の脱穀作業

を行った＝写真左。昔ながらのやり方は子供たちにとっては珍しく、大人の手を借りながら懸命に作業する姿が見られた。作業終了後は田んぼにて収穫御礼の天茶の撒き供養を行った。

午後は出講の中村浩之指導



員が講話し、代々の先人による品種改良によって美味しいお米、災害に強いお米が頂けるように、私たちも先祖の良

い所を受け継いで尊い命を頂いていることなどを伝えた。収穫した米は立教90年記念の秋季大祭にて奉納された。



中部圏域・奉祝ファミリーフェスティバル

# 親子孫、三教区合同で開催!

9月23日、中部圏域は立教90年記念大祭へのお導きに繋げるため、会員や法縁者を気軽に誘えるイベント「奉祝ファミリーフェスティバル」を中部道場で開催し、名古屋第1・名古屋第2・愛知の3教区合同で合計410名が集い合った。当日、駐車場では女性部・

修法・こども会担当による屋台村・こども広場が、道場内では和太鼓やマジックショー、居合やバンド演奏他=写真=盛りだくさんの内容で行われた。初参加の法縁者も親子孫の家族も一体となり教区、支部の垣根を越えて笑顔あふれる楽しい一日を過ごした。



女性部がころもんと販売



こども広場でマラカス作り



愛知大学落語研究会の披露



お待ちかねの抽選会



青年部によるPRタイム



会場が沸いたバレーアートショー

## 各地で修法研修を開催

8月から9月にかけて各地で修法研修が開催された。今回は5教区9カ所の模様を紹介したい。

まず静岡教区東地区が8月12日に湘南道場にて=写真、西地区が19日に静岡袋井支部にて開催、教区目標である毎月一回御修業を重ねることの必要を確認した。25日には神奈川教区が湘南道場にて行い、木村正則指導員より基本の作法や真心からのご挨拶の大切さを学んだ。



9月9日には中国第2教区が広島千年支部にて大賀光夫指導員出講のもと、教区修法担当員らによる模擬実修や班別実修を通して深く学んだ。

東北第1教区では、北区が18日に青森藤崎支部にて山本吉朗指導員を迎えて開催。翌19日には南区が山形浜中支部にて行い、岩田始指導員より御修業の目的と意義について丁寧な指導を受け、参加者らは意欲的に学び合った。

九州教区では倉上利夫指導員出講のもと、次の3カ所で開催された。まず22日には東地区が大分東支部にて開催、倉上指導員より仲介の基礎を教わると共に仲介の経験をさらに積んでいく大切さを学んだ。翌23日に佐賀鳥栖支部にて行われた北地区の研修では、「心直し」にポイントをおいた御修業のあり方について確認した他、実修を通じて仲介において間違えやすい事柄などについて具体的に学んだ。最終日の24日には熊本田迎準支部を会場に南地区が開催、「基本的事項の確認と実践」をテーマに学んだ。

各地とも、今後の仲介の技術向上や新たな仲介者の育成が期待される研修であった。

### 中国第2教区・女性大会

## 豪雨被害を乗り越えて

中国第2教区では9月23日、福山八幡宮会館で女性大会を開催。70名の参加者を得て充実した行事となった。

森近功子女性部担当部長の開会挨拶に続き、瀬尾正照教区長は、岡山県真備町の西日本豪雨による被害状況を踏まえ、今後も本気で支援活動に取り組みたいと述べた。さらに、被災地を抱える岡山灘崎町支部の朝倉壽男支部長より、豪雨被害の支援への感謝の言葉が伝えられた。被災者を代表して小野治子さんが豪雨以降の様々な体験を語り、「失うものも多かったが得るものも多かった」と感謝の言葉で結び、会場は感動と



激励の拍手で満ちた。

また、青年部より三聖地巡拝錬成の感想やボランティアの取り組みが報告された。

出講の宮坂保徳指導員の講演では「大いなる女性の役目」をテーマに、時代に必要とされる取り組みを具体例に基づいて分かりやすく学んだ。

感動的な女性大会は、教区担当の安達武寿指導員のまとめの挨拶をもって終了した。

## 70年祭記念・特別写真展

解脱金剛70年祭にあたり、関西道場では特別展示「解脱金剛宝塔建立の軌跡」を開催し、建立当時の貴重な写真42点と映像を公開。



10月1日～11月4日まで。この展示は御霊地解脱金剛宝物館でも行われる予定となっている。

## 解脱錬心館が全国大会で優秀旗獲得

解脱錬心館は7月21日、明治150年を記念して日本武道館で行われた第53回全日本少年少女武道錬成大会において5年ぶりに5回目の優秀旗を手にした。この大会は日本全国から出場した925チームが2日間にわたり、8ブロックの会場に分かれて勝



敗を競うもの。錬心館では小

学生3チームが出場する中、大将・田中隆斗君(小6)を中心に5名の解脱Aチームが接戦を勝ち進み、優秀賞(ブロック優勝)を獲得した。